

消防職員向け食物アレルギー－緊急時対応講習会 in 宮城県消防学校

1月12日に、宮城県内の消防職員を対象とした食物アレルギーの講習会を宮城県消防学校で開催しました。宮城県立こども病院の佐藤医師・鈴木看護師・村上看護師を講師に招き、消防職員70名が参加しました。

座学では、佐藤医師より食物アレルギーが起こる仕組みや種類・症状について解説いただきました。参加者は、アナフィラキシー発症時は迅速な対応が必要で、エピペン®の投与が重要なポイントになることを再認識していました。

講義後は、エピペン®トレーナーを使用した演習と、幾つかの事例をもとに対処方法について検討を行いました。また、鈴木・村上看護師よりエピペン®の取扱方法や、仰臥位の患者に対するエピペン®の打ち方のポイント等の説明があり、参加者は自身の太ももで投与方法の練習を行いました。また、消防職員に心がけて欲しいことについて、講師陣は以下の4点を挙げました。 迷ったらエピペン®を打つ。

緊急性が高い症状出現時や保護者が迷っている場合はエピペン®の使用を後押しする。 安静体位での搬送を心がける。 医療機関への正確な二次情報の提供。

講習会の最後には参加者から現場に即した質問がなされ、今後の現場ではより自信を持って対処できるとの声が多く聞かれました。

